

大学番号：045

注3

意見伺い（JD）

[平成30年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

名古屋大学大学院 生命農学研究科
名古屋大学・カセサート大学国際連携生命農学専攻

注2

【意見伺い（JD）】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 名古屋大学
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画部企画課

職名・氏名 カチョウ ヒロイシ タカシ
課長・廣石 孝

電話番号 052-789-5466

（夜間） 同上

F A X 052-747-6500

e-mail sougoukikakusitu1@adm.nagoya-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学部名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

大学院生命農学研究科

＜名古屋大学・カセサート大学国際連携生命農学専攻＞		ページ
1. 調査対象大学等の概要等	・・・・・・・・・・・・・・・・	3
2. 授業科目の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	8
3. 施設・設備の整備状況、経費	・・・・・・・・・・・・・・・・	11
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	12
5. 教員組織の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	25
6. 留意事項等に対する履行状況等	・・・・・・・・・・・・・・・・	46
7. その他全般的事項	・・・・・・・・・・・・・・・・	47

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人名古屋大学

【連携外国大学の設置者】タイ王国

(2) 大学名

名古屋大学大学院

【連携外国大学の名称】

Kasetsart University (มหาวิทยาลัยเกษตรศาสตร์)

(注) ・連携外国大学が置かれている国で用いられている言語による名称を () 書きで記入してください。

(3) 大学の位置

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町1

【連携外国大学の本部の位置】

50 Ngam Wong Wan Rd, Ladyaow Chatuchak Bangkok 10900, Thailand

(注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を () 書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾清一 (平成27年4月)		
理事	(ワタナベ ヨシヒト) 渡辺芳人 (平成24年4月)		
理事	(マツシタ ユウシュウ) 松下裕秀 (平成27年4月)		
理事	(キムラ ショウゴ) 木村彰吾 (平成27年4月)		
理事	(ザイマ シゲアキ) 財満鎮明 (平成29年4月)		
理事	(タカハシ マサヒデ) 高橋雅英 (平成29年4月)		

理事	(イソガイ ケイスケ) 磯谷桂介 (平成29年1月)	(コウヅキ マサヒロ) 上月正博 (平成30年1月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成30年1月 16日(30)
理事	(ゴウ ミチコ) 郷通子 (平成27年4月)		
研究科長	(カワキタ カズヒト) 川北一人 (平成27年4月)		
副研究科長	(ツチカワ サトル) 土川覚 (平成28年4月)		
副研究科長	(シモムラ ヨシハル) 下村吉治 (平成27年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
生命農学研究科 名古屋大学・カセサート大学 国際連携生命農学専攻 (博士後期課程) 博士(農学)	農学関係	3 年	2 <42> 人	6 <126> 人	基礎となる学部等 農学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・ < >内の数字は, 母体となる研究科等の全体の入学定員を記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員 超過率	備考
		4月入学	8月入学	4月入学	8月入学	4月入学	8月入学		
A 入学定員		人 2 (-) [-]	人	人 () []	人	人 () []	人	0.5倍	
志願者数		1 (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数		1 (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数		1 (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数		1 (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A		0.5							

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ 「春季入学」、「その他の学期」については, 各国際連携学科の入学時期に合わせて表を修正してください。
 (例) 「春季入学」→「4月入学」, 「10月入学」等
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	4月入学	8月入学	4月入学	8月入学	4月入学	8月入学	4月入学	8月入学	
1年次	1 [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	1 [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ 「春季入学」、「その他の学期」については、各国際連携学科の入学時期に合わせて表を修正してください。
(例) 「春季入学」→「4月入学」、「10月入学」等
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	1人	0人	平成30年度	0人	0人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
合計	1人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{1} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<生命農学研究科 名古屋大学・カセサート大学国際連携生命農学専攻>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	博士論文研究 I A		1前	名古屋大学	4			48	44	14	26			
	博士論文研究 II A		1後	名古屋大学	10			48	44	14	26			
	博士論文研究 III A		2前	名古屋大学	10			48	44	14	26			
	博士論文研究 IV A		2後	名古屋大学	10			48	44	14	26			
	博士論文研究 V A		3前	名古屋大学	10			48	44	14	26			
	博士論文研究 VI A		3後	名古屋大学	4			48	44	14	26			
	博士論文研究 I B		1前	カセサート大学	4			1	24	4	0			
	博士論文研究 II B		1後	カセサート大学	10			1	24	4	0			
	博士論文研究 III B		2前	カセサート大学	10			1	24	4	0			
	博士論文研究 IV B		2後	カセサート大学	10			1	24	4	0			
	博士論文研究 V B		3前	カセサート大学	10			1	24	4	0			
	博士論文研究 VI B		3後	カセサート大学	4			1	24	4	0			
	(研究指導)		1-3通	名古屋大学・カセサート大学	—			48	44	14	26			

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	博士論文研究 I A		1前	名古屋大学	4			48	46	17	23			
	博士論文研究 II A		1後	名古屋大学	10			48	46	17	23			
	博士論文研究 III A		2前	名古屋大学	10			48	46	17	23			
	博士論文研究 IV A		2後	名古屋大学	10			48	46	17	23			
	博士論文研究 V A		3前	名古屋大学	10			48	46	17	23			
	博士論文研究 VI A		3後	名古屋大学	4			48	46	17	23			
	博士論文研究 I B		1前	カセサート大学	4			1	24	4	0			
	博士論文研究 II B		1後	カセサート大学	10			1	24	4	0			
	博士論文研究 III B		2前	カセサート大学	10			1	24	4	0			
	博士論文研究 IV B		2後	カセサート大学	10			1	24	4	0			
	博士論文研究 V B		3前	カセサート大学	10			1	24	4	0			
	博士論文研究 VI B		3後	カセサート大学	4			1	24	4	0			
	(研究指導)		1-3通	名古屋大学・カセサート大学	—			49	70	21	23			

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

・准教授採用の理由により、「博士論文研究ⅠA」、「博士論文研究ⅡA」、「博士論文研究ⅢA」、「博士論文研究ⅣA」、「博士論文研究ⅤA」、「博士論文研究ⅥA」の専任教員等の配置を「准教授44」から「准教授46」に変更。
 ・助教から講師への昇格により、「博士論文研究ⅠA」、「博士論文研究ⅡA」、「博士論文研究ⅢA」、「博士論文研究ⅣA」、「博士論文研究ⅤA」、「博士論文研究ⅥA」の専任教員等の配置を「講師14」から「講師17」、「助教26」から「助教23」に変更。
 ・准教授採用及び助教から講師への昇格により、「研究指導」の専任教員等の配置を「教授48」から「教授49」、「准教授44」から「准教授70」、「講師14」から「講師21」、「助教26」から「助教23」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

	設置時の計画				変更状況				備考
	必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
名古屋大学	6 科目	0 科目	0 科目	6 科目	6 科目 [0]	0 科目 [0]	0 科目 [0]	6 科目 [0]	
カセサート大学	6 科目	0 科目	0 科目	6 科目	6 科目 [0]	0 科目 [0]	0 科目 [0]	6 科目 [0]	
共同開設科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目 [0]	0 科目 [0]	0 科目 [0]	0 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	開設大学	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	名古屋大学	該当なし					
2	カセサート大学						
3	共同開設科目						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	開設大学	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	名古屋大学	該当なし					
2	カセサート大学						
3	共同開設科目						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{12} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 うち附属病院 51,789㎡		
	校舎敷地	617,966 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	617,966 ㎡			
	運動場用地	105,994 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	105,994 ㎡			
	小 計	723,960 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	723,960 ㎡			
	そ の 他	2,495,186 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,495,186 ㎡			
	合 計	3,219,146 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,219,146 ㎡			
(2) 校舎	専 用	578,743 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	578,743 ㎡	大学全体		
	(578,743 ㎡)	(0 ㎡)	(0 ㎡)	(578,743 ㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	234 室	240 室	1,326 室	17 室 (補助職員 1 人)	14 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		平成30年4月専任准教授3名を新規採用のため(30)		
	生命農学研究科名古屋大学・カセサート大学国際連携生命農学専攻			125 422 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械・器 具 点	標 本 点	保有図書等整理のため(30)
		冊	種	〔うち外国書〕				
	生命農学研究科名古屋大学・カセサート大学国際連携生命農学専攻	110,852 [50,831] (112,218110,852 [50,99750,831])	4,325 [1,354] (4,3784,325 [1,3851,325])	21,081 [21,009] (20,84821,081 [20,77621,009])	116 [14] (115116 [14])	0 0	0 0	
計	110,852 [50,831] (112,218110,852 [50,99750,831])	4,325 [1,354] (4,3784,325 [1,3851,325])	21,081 [21,009] (20,84821,081 [20,77621,009])	116 [14] (115116 [14])	0 0	0 0		
(6) 図書館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	24,829 ㎡	2,031 席	3,140,500 冊					
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	9,229 ㎡	弓道場, プール (25m×7コース), 陸上競技場 (400mトラック), テニスコート (11面), 野球場 (1面), 相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場 (各1か所)						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を, 申請書の様式第 2 号 (その 1 の 1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合, 複数の様式に分ける必要はありません。なお, 「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を, その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

※国際連携学科等に係る申請大学の状況を記載し, 連携外国大学の状況は含めないでください。

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は, その旨 (所要時間・距離等) を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については, 上段に完成年度の予定数値を, 下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては, 変更部分を赤字で見え消し修正するとともに, その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお, 昨年度の報告において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更 (校舎又は体育館の総面積の減少, 建築計画の遅延) がある場合には, 「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	名古屋大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学定学員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
文学部 人文学科	4	125	3年次10	520 520	学士(文学)	1.05	昭和24年度 平成8年度	愛知県名古屋市千種区不老町	
教育学部 人間発達科学科	4	65	3年次10	280 280	学士(教育学)	1.09	昭和24年度 平成9年度	愛知県名古屋市千種区不老町	
法学部 法律・政治学科	4	150	3年次10	620 620	学士(法学)	1.05	昭和24年度 平成9年度	愛知県名古屋市千種区不老町	
経済学部 経済学科	4	140		840 560	学士(経済学)	1.06	昭和24年度 昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入した。
経営学科	4	65		260	学士(経済学)		昭和24年度		
学部共通				20					
情報文化学部 自然情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—	平成5年度 平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町	
社会システム情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—	平成5年度		平成29年より学生募集停止 平成29年より学生募集停止
学部共通			3年次10	20					
情報学部 自然情報学科	4	38	—	270 76	学士(情報学)	1.03	平成29年度 平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町	
人間・社会情報学科	4	38	—	76	学士(情報学)	0.97	平成29年度		
コンピュータ科学科	4	59	—	118	学士(情報学)	1.08	平成29年度		
理学部 数理学科	4	55	—	1080 220	学士(理学)	1.07	昭和24年度 平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入した。
物理学科	4	90	—	360	学士(理学)		昭和24年度		
化学科	4	50	—	200	学士(理学)		昭和24年度		
生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)		平成8年度		
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)		平成4年度		
医学部 医学科	6	107	3年次5	1520 662	学士(医学)	1.02	昭和24年度 昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	
保健学科	4	200	3年次20 2年次6	858	学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーション学)	1.03	平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	

大学の名称	名古屋大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
工学部				1360					
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	昭和24年度 平成8年度	愛知県名古屋市千種区不老町	平成29年より学生募集停止 平成29年より学生募集停止 平成29年より学生募集停止 平成29年より学生募集停止 平成29年より学生募集停止
物理工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成9年度		
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成7年度		
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成6年度		
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成8年度		
<u>化学生命工学科</u>	4	99	—	198	学士（工学）	1.03	平成29年度		
<u>物理工学科</u>	4	83	—	166	学士（工学）	1.03	平成29年度		
<u>マテリアル工学科</u>	4	110	—	220	学士（工学）	1.00	平成29年度		
<u>電気電子情報工学科</u>	4	118	—	236	学士（工学）	1.03	平成29年度		
<u>機械・航空宇宙工学科</u>	4	150	—	300	学士（工学）	1.03	平成29年度		
<u>エネルギー理工学科</u>	4	40	—	80	学士（工学）	1.02	平成29年度		
<u>環境土木・建築学科</u>	4	80	—	160	学士（工学）	1.00	平成29年度		
農学部				680					
生物環境科学科	4	35	—	140	学士（農学）	1.08	昭和26年度 平成18年度	愛知県名古屋市千種区不老町	
資源生物科学科	4	55	—	220	学士（農学）	1.06	平成18年度		
応用生命科学科	4	80	—	320	学士（農学）	1.08	平成18年度		

大学の名称	名古屋大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
文学研究科									
人文学専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	修士（文学） 修士（歴史学）	—	昭和28年度 平成12年度	愛知県名古屋市千種区不老町	平成29年より学生募集停止
（博士後期課程）	3	—	—	—	博士（文学） 博士（歴史学）	—			
人文学研究科									
人文学専攻 （博士前期課程）	2	104	—	208	修士（文学） 修士（歴史学） 修士（学術）	1.05	平成29年度 平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町	
（博士後期課程）	3	61	—	122	博士（文学） 博士（歴史学） 博士（学術）	0.83			

大学の名称	名古屋大学大学院							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
教育発達科学研究科 教育科学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(教育学)	0.70	昭和28年度 平成12年度	愛知県名古屋市千種区不老町
(博士後期課程)	3	16	—	48	修士(教育) 博士(教育学) 博士(教育)	0.79		
心理発達科学専攻 (博士前期課程)	2	22	—	44	修士(心理学) 修士(臨床心理学)	0.76	平成12年度	
(博士後期課程)	3	15	—	45	博士(心理学)	0.97		
法学研究科 総合法政専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(法学) 修士(比較法学) 修士(現代法学)	0.84	昭和28年度 平成16年度	愛知県名古屋市千種区不老町
(博士後期課程)	3	17	—	51	博士(法学) 博士(比較法学) 博士(現代法学)	0.64		
実務法曹養成専攻 (専門職学位課程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.53	平成16年度	
経済学研究科 社会経済システム専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(経済学) 修士(経営管理学)	1.05	昭和28年度 平成12年度	愛知県名古屋市千種区不老町
(博士後期課程)	3	15	—	45	博士(経済学)	0.53		
産業経営システム専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(経済学)	1.35	平成12年度	
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(経済学)	0.66		
情報学研究科 数理情報学専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(情報学) 修士(学術)	0.85	平成29年度 平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町
(博士後期課程)	3	4	—	8	修士(情報学) 修士(学術)	1.00		

大学の名称	名古屋大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 員 定 員	編入 学 員 定 員	収 容 員 定 員	学位又 は称号	平均入 学 定 員 超 過 率	開 年 設 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
<u>複雑系科学専攻</u> <u>(博士前期課程)</u>	2	36	—	72	修士(情報学)	1.24	平成29年度		
<u>(博士後期課程)</u>	3	8	—	16	修士(学術) 修士(情報学) 修士(学術)	0.68			
<u>社会情報学専攻</u> <u>(博士前期課程)</u>	2	18	—	36	修士(情報学)	0.88	平成29年度		
<u>(博士後期課程)</u>	3	5	—	10	修士(学術) 修士(情報学) 修士(学術)	0.90			
<u>心理・認知科学専攻</u> <u>(博士前期課程)</u>	2	15	—	30	修士(情報学)	0.43	平成29年度		
<u>(博士後期課程)</u>	3	7	—	14	修士(学術) 修士(情報学) 修士(学術)	0.99			
<u>情報システム学専攻</u> <u>(博士前期課程)</u>	2	32	—	64	修士(情報学)	1.01	平成29年度		
<u>(博士後期課程)</u>	3	9	—	18	修士(学術) 修士(情報学) 修士(学術)	0.71			
<u>知能システム学専攻</u> <u>(博士前期課程)</u>	2	29	—	58	修士(情報学)	1.15	平成29年度		
<u>(博士後期課程)</u>	3	10	—	20	修士(学術) 修士(情報学) 修士(学術)	0.90			
理学研究科							昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町	
素粒子宇宙物理学専攻							平成7年度		
<u>(博士前期課程)</u>	2	66	—	132	修士(理学)	1.11			
<u>(博士後期課程)</u>	3	30	—	90	博士(理学)	0.82			
物質理学専攻							平成7年度		
<u>(博士前期課程)</u>	2	63	—	126	修士(理学)	1.14			
<u>(博士後期課程)</u>	3	22	—	67	博士(理学)	0.66			

大学の名称	名古屋大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 員	編入学 定員	収 容 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
生命理学専攻 (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.11	平成8年度		
(博士後期課程)	3	18	—	55	博士(理学)	0.31			
<u>名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻</u> (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.33	平成28年度		
医学系研究科 総合医学専攻 (博士課程)	4	153	—	620	博士(医学)	1.14	昭和30年度 平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	
<u>名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻</u> (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.37	平成27年度		
<u>名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻</u> (博士課程)	4	4	—	8	博士(医学)	0.50	平成29年度		
医科学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	1.00	平成13年度		
医療行政コース	1	10	—	10	修士(医療行政学)	1.00			
看護学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(看護学)	0.94	平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(看護学)	1.27			

大学の名称	名古屋大学大学院							備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 員	編入 学 員	収 容 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
医療技術学専攻 (博士前期課程)	2	20	—	40	修士(医療技術学)	1.25	平成14年度	愛知県名古屋市東 区大幸南1-1-20	
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(医療技術学)	0.51			
リハビリテーション療法学専攻 (博士前期課程)	2	10	—	20	修士(リハ リテーション療法 学)	1.55	平成14年度	愛知県名古屋市東 区大幸南1-1-20	
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(リハ リテーション療法 学)	1.25			
工学研究科							昭和28年度 平成16年度	愛知県名古屋市千 種区不老町	平成29年より学生 募集停止
化学・生物工学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—			
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—			
マテリアル理工学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成16年度		平成29年より学生 募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—			
電子情報システム専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成16年度		平成29年より学生 募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—			
機械理工学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成16年度		平成29年より学生 募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—			
航空宇宙工学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—	昭和35年度		平成29年より学生 募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—			
社会基盤工学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成16年度		平成29年より学生 募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—			

大学の名称	名古屋大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 員 定 員	編入 学 員 定 員	収 容 員 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
結晶材料工学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—	昭和52年度		平成29年より学生 募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—			
エネルギー理工学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成5年度		平成29年より学生 募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—			
量子工学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成3年度		平成29年より学生 募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—			
マイクロ・ナノシステム工学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成16年度		平成29年より学生 募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—			
物質制御工学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成8年度		平成29年より学生 募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—			
計算理工学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成9年度		平成29年より学生 募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—			
有機・高分子化学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	16	博士(工学)	1.37			
応用物質化学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.01	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	16	博士(工学)	0.24			

大学の名称	名古屋大学大学院							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
<u>生命分子工学専攻</u> <u>(博士前期課程)</u>	2	28	—	56	修士(工学)	1.07	平成29年度	
<u>(博士後期課程)</u>	3	6	—	12	博士(工学)	1.16		
<u>応用物理学専攻</u> <u>(博士前期課程)</u>	2	39	—	78	修士(工学)	0.95	平成29年度	
<u>(博士後期課程)</u>	3	9	—	18	博士(工学)	0.33		
<u>物質科学専攻</u> <u>(博士前期課程)</u>	2	39	—	78	修士(工学)	0.97	平成29年度	
<u>(博士後期課程)</u>	3	9	—	18	博士(工学)	0.27		
<u>材料デザイン工学専攻</u> <u>(博士前期課程)</u>	2	34	—	68	修士(工学)	1.06	平成29年度	
<u>(博士後期課程)</u>	3	8	—	16	博士(工学)	0.25		
<u>物質プロセス工学専攻</u> <u>(博士前期課程)</u>	2	35	—	70	修士(工学)	1.26	平成29年度	
<u>(博士後期課程)</u>	3	9	—	18	博士(工学)	0.60		
<u>化学システム工学専攻</u> <u>(博士前期課程)</u>	2	34	—	68	修士(工学)	1.14	平成29年度	
<u>(博士後期課程)</u>	3	8	—	16	博士(工学)	0.37		
<u>電気工学専攻</u> <u>(博士前期課程)</u>	2	34	—	68	修士(工学)	1.09	平成29年度	
<u>(博士後期課程)</u>	3	9	—	18	博士(工学)	0.88		
<u>電子工学専攻</u> <u>(博士前期課程)</u>	2	47	—	94	修士(工学)	1.20	平成29年度	
<u>(博士後期課程)</u>	3	13	—	26	博士(工学)	0.84		

大学の名称	名古屋大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
情報・通信工学専攻 (博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.22	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	16	博士(工学)	0.75			
機械システム工学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.01	平成29年度		
(博士後期課程)	3	14	—	28	博士(工学)	0.53			
マイクロ・ナノ機械理工学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.17	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	16	博士(工学)	0.56			
航空宇宙工学専攻 (博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.16	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	16	博士(工学)	1.06			
エネルギー理工学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	1.16	平成29年度		
(博士後期課程)	3	5	—	10	博士(工学)	0.50			
総合エネルギー工学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	1.05	平成29年度		
(博士後期課程)	3	4	—	8	博士(工学)	0.87			
土木工学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.08	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	18	博士(工学)	0.61			
生命農学研究科 生物圏資源学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—	昭和30年度 平成11年度	愛知県名古屋市千種区不老町	平成30年より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—			

大学の名称	名古屋大学大学院							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—	平成9年度	平成30年より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—		
応用分子生命科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—	平成10年度	平成30年より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—		
生命技術科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—	平成16年度	平成30年より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—		
森林・環境資源科学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	27	修士(農学)	1.11	平成30年度	
(博士後期課程)	3	7	—	7	博士(農学)	0.42		
植物生産科学専攻 (博士前期課程)	2	30	—	30	修士(農学)	1.16	平成30年度	
(博士後期課程)	3	9	—	9	博士(農学)	0.33		
動物科学専攻 (博士前期課程)	2	28	—	28	修士(農学)	1.00	平成30年度	
(博士後期課程)	3	7	—	7	博士(農学)	0.28		
応用生命科学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	66	修士(農学)	0.95	平成30年度	
(博士後期課程)	3	17	—	17	博士(農学)	0.64		
名古屋大学・カセサ ニ卜大学国際連携生 命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士(農学)	0.50	平成30年度	

大学の名称	名古屋大学大学院							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
<u>国際開発研究科</u>							平成3年度	愛知県名古屋市千種区不老町	平成30年より学生募集停止
国際開発専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(国際開発学)	—	平成3年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	—			
国際協力専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(国際開発学)	—	平成4年度		平成30年より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	—			
国際コミュニケーション専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(学術)	—	平成5年度		平成29年より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(学術)	—			
<u>国際開発協力専攻</u> (博士前期課程)	2	44	—	44	修士(国際開発学)	1.13	平成30年度		
(博士後期課程)	3	22	—	22	博士(国際開発学)	0.63			
多元数理科学研究科 多元数理科学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(数理学)	1.01	平成7年度 平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町	
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(数理学)	0.43			
国際言語文化研究科 日本語文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学) 修士(学術)	—	平成10年度 平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町	平成29年より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(文学) 博士(学術)	—			
国際多元文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学) 修士(学術)	—	平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(文学) 博士(学術)	—			

大学の名称	名古屋大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
環境学研究科							平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町	
地球環境科学専攻 (博士前期課程)	2	53	—	106	修士(環境学) 修士(理学)	0.83	平成13年度		
(博士後期課程)	3	24	—	73	博士(環境学) 博士(理学)	0.61			
都市環境学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(環境学) 修士(工学) 修士(建築学)	1.36	平成13年度		
(博士後期課程)	3	21	—	63	博士(環境学) 博士(工学) 博士(建築学)	0.45			
社会環境学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(環境学) 修士(社会学) 修士(地理学) 修士(法学)	0.95	平成13年度		
(博士後期課程)	3	13	—	44	博士(環境学) 博士(社会学) 博士(地理学) 博士(法学) 博士(経済学)	0.56			
情報科学研究科							平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町	平成29年より学生募集停止
計算機数理科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学) 修士(学術)	—	平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—			
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学) 修士(学術)	—	平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—			

大学の名称	名古屋大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
メディア科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—	平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—			
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—	平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—			
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—	平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—			
創薬科学研究科 基盤創薬学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学)	1.09	平成24年度 平成24年度	愛知県名古屋市千種区不老町	
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(創薬科学)	0.66			

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部/学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。

・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。

・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

(1) ① 担当教員表

<名古屋大学>

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	北野 英己 <平成30年4月> 博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)	専	教授	北野 英己 <平成30年4月> 博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	教授	松岡 信 <平成30年4月> 博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)	専	教授	松岡 信 <平成30年4月> 博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	教授	芦苺 基行 <平成30年4月> 博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)	専	教授	芦苺 基行 <平成30年4月> 博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	教授	北島 健 <平成30年4月> 博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)	専	教授	北島 健 <平成30年4月> 博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	教授	服部 東穂 <平成30年4月> 博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)	専	教授	服部 東穂 <平成30年4月> 博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	教授	北 将樹 <平成30年4月> 博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)	専	教授	北 将樹 <平成30年4月> 博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	教授	一柳 健司 <平成30年4月> 博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)	専	教授	一柳 健司 <平成30年4月> 博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	教授	堀尾 文彦 <平成30年4月> 博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)	専	教授	堀尾 文彦 <平成30年4月> 博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	教授	下村 吉治 <平成30年4月> 博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)	専	教授	下村 吉治 <平成30年4月> 博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	教授	牧 正敏 <平成30年4月> 博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)	専	教授	牧 正敏 <平成30年4月> 博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	山内 章 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	教授	渡邊 彰 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	教授	土川 覚 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	教授	福島 和彦 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	教授	山本 浩之 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	教授	太田 岳史 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	教授	原田 一宏 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	山内 章 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	教授	渡邊 彰 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	教授	土川 覚 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	教授	福島 和彦 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	教授	山本 浩之 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	教授	太田 岳史 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	教授	原田 一宏 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	上口 智治 <平成30年4月>	専	准教授	上口 智治 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	准教授	佐藤 ちひろ <平成30年4月>	専	准教授	佐藤 ちひろ <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	准教授	武田 真 <平成30年4月>	専	准教授	武田 真 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	准教授	大川 妙子 <平成30年4月>	専	准教授	大川 妙子 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	准教授	石川 明 <平成30年4月>	専	准教授	石川 明 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	准教授	村井 篤嗣 <平成30年4月>	専	准教授	村井 篤嗣 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	准教授	小田 裕昭 <平成30年4月>	専	准教授	小田 裕昭 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	准教授	柴田 秀樹 <平成30年4月>	専	准教授	柴田 秀樹 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	准教授	灘野 大太 <平成30年4月>	専	准教授	灘野 大太 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	准教授	邊見 久 <平成30年4月>	専	准教授	邊見 久 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 <就任(予定)年月 >	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	石黒 澄衛 <平成30年4月>	専	准教授	石黒 澄衛 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	准教授	木村 眞 <平成30年4月>	専	准教授	木村 眞 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	准教授	山篠 貴史 <平成30年4月>	専	准教授	山篠 貴史 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	准教授	中川 弥智子 <平成30年4月>	専	准教授	中川 弥智子 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	准教授	矢野 勝也 <平成30年4月>	専	准教授	矢野 勝也 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	准教授	山本 一清 <平成30年4月>	専	准教授	山本 一清 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	准教授	今井 貴規 <平成30年4月>	専	准教授	今井 貴規 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	准教授	松下 泰幸 <平成30年4月>	専	准教授	松下 泰幸 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	准教授	山崎 真理子 <平成30年4月>	専	准教授	山崎 真理子 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	准教授	吉田 正人 <平成30年4月>	専	准教授	吉田 正人 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	田中 隆文 <平成30年4月>	専	准教授	田中 隆文 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	准教授	伊藤 正樹 <平成30年4月>	専	准教授	伊藤 正樹 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	准教授	岩崎 雄吾 <平成30年4月>	専	准教授	岩崎 雄吾 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	准教授	上野山 賀久 <平成30年4月>	専	准教授	上野山 賀久 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	准教授	MATURANA Andres Daniel <平成30年4月>	専	准教授	MATURANA Andres Daniel <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	准教授	竹下 広宣 <平成30年4月>	専	准教授	竹下 広宣 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	准教授	土井 一行 <平成30年4月>	専	准教授	土井 一行 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	准教授	梶村 恒 <平成30年4月>	専	准教授	梶村 恒 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	准教授	大森 保成 <平成30年4月>	専	准教授	大森 保成 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	准教授	伊藤 香純 <平成30年4月>	専	准教授	伊藤 香純 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	金丸 京子 <平成30年4月>	専	講師	金丸 京子 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	講師	小川 一治 <平成30年4月>	専	講師	小川 一治 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	講師	三屋 史朗 <平成30年4月>	専	講師	三屋 史朗 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	講師	稲垣 哲也 <平成30年4月>	専	講師	稲垣 哲也 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	講師	井上 直子 <平成30年4月>	専	講師	井上 直子 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	講師	兒島 孝明 <平成30年4月>	専	講師	兒島 孝明 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	講師	新美 友章 <平成30年4月>	専	講師	新美 友章 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	助教	野田口 理孝 <平成30年4月>	専	助教	野田口 理孝 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	助教	塚田 光 <平成30年4月>	専	助教	塚田 光 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	助教	山縣 高宏 <平成30年4月>	専	助教	山縣 高宏 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)			博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	西内 俊策 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	助教	土岐 和多瑠 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専 (調)	助教	馬 特 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	西内 俊策 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	助教	土岐 和多瑠 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	准教授	鈴木 孝幸 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	准教授	木羽 隆敏 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専	准教授	松山 秀一 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
専 (調)	助教	馬 特 <平成30年4月>
		博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)

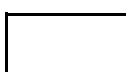
<カセサート大学>

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名
外国	教授相当	Theeraphap CHAREONVIRIYAPHAP 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)
外国	准教授相当	Krisana Krisanapook 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)
外国 (調)	准教授相当	Sirinporn Sindhuvanich 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)
外国	准教授相当	Chainarong Rattanakreetakul 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)
外国	准教授相当	Chanate Malumpong 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)
外国	准教授相当	Kietsuda Luengwilai 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)
外国	准教授相当	Lerchart Boon-ek 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)
外国	准教授相当	Prakit Somta 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)
外国	准教授相当	Ratiya Pongpisutta 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)
外国	准教授相当	Seksom Attamangkune 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名
外国	教授相当	Theeraphap CHAREONVIRIYAPHAP 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)
外国	准教授相当	Krisana Krisanapook 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)
外国 (調)	准教授相当	Sirinporn Sindhuvanich 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)
外国	准教授相当	Chainarong Rattanakreetakul 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)
外国	准教授相当	Chanate Malumpong 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)
外国	准教授相当	Kietsuda Luengwilai 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)
外国	准教授相当	Lerchart Boon-ek 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)
外国	准教授相当	Prakit Somta 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)
外国	准教授相当	Ratiya Pongpisutta 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)
外国	准教授相当	Seksom Attamangkune 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)



外国	准教授 相当	Skorn KOONAWOOTRITTRIRON 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)	外国	准教授 相当	Skorn KOONAWOOTRITTRIRON 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)
外国	准教授 相当	Sudsaisin KAEWUENG 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)	外国	准教授 相当	Sudsaisin KAEWUENG 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)
外国	准教授 相当	Sutkhet NAKASATHIEN 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)	外国	准教授 相当	Sutkhet NAKASATHIEN 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)
外国	准教授 相当	Tida DETHOUP 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)	外国	准教授 相当	Tida DETHOUP 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)
外国	講師 相当	Napat Kamthonsiriwimol 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)	外国	講師 相当	Napat Kamthonsiriwimol 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)
外国	講師 相当	Siwaret Arikit 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)	外国	講師 相当	Siwaret Arikit 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)
外国	講師 相当	Sunisa Sanguansub 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)	外国	講師 相当	Sunisa Sanguansub 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)
外国	講師 相当	Wirawan Junlapho 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)	外国	講師 相当	Wirawan Junlapho 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VI B (研究指導)

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成して
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
 ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

<名古屋大学>

【平成30年度】

- ・平成29年7月1日 青木弾助教が講師に昇格
- ・平成29年9月1日 松尾美幸助教が講師に昇格。
- ・平成30年1月1日 太田垣駿吾助教が講師に昇格。
- ・平成30年3月31日 柘植尚志教授辞任。後任未定であるが、平成30年10月から専任教員採用予定で公募中。
- ・平成30年4月1日 鈴木孝幸准教授、木羽隆敏准教授、松山秀一准教授就任。
- ・平成30年5月1日 犬飼義明准教授が教授に昇格。

<カセサート大学>

【平成30年度】

特になし

- (注)
- ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 本様式は、当該国際連携学科等に所属し授業科目を担当する専任教員（同一の学部又は研究科内の他の学科又は専攻の専任教員（研究指導教員等）が兼ねて担当する場合も含める）について記入してください。

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
4	3	4
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文科省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
48	44	14	26	132	48	46	17	23	134	48	44	14	26	132
(47)	(47)	(17)	(23)	(134)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
132	0	0			134	0	0			132	0	0		
(134)	(0)	(0)								[0]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{132}{132} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{134} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(注) ・ 本様式は、当該国際連携学科等に所属し授業科目を担当する専任教員（同一の学部又は研究科内の他の学科又は専攻の専任教員研究指導教員等）が兼ねて担当する場合も含める）について記入してください。

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	教授	柘植 尚志	必修	博士論文研究ⅠA	①	他機関へ就職のため、H30.3.31付けで退職（30）				
			必修	博士論文研究ⅡA	①					
			必修	博士論文研究ⅢA	①					
			必修	博士論文研究ⅣA	①					
			必修	博士論文研究ⅤA	①					
			必修	博士論文研究ⅥA	①					
合計（D）			後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	6	科目	必修	6	科目	必修	科目	
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	科目	
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		該当なし						
合計（F）			後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）			後任補充状況の集計（E）+（G）							
辞任等した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	6	科目	必修	6	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{132} = \boxed{0.75} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0 科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0 科目	自由	科目	自由	科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員について**に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教育に支障がないように、それぞれ専任教員を配置しているため、学生への影響はない。また、ガイダンス及び個別指導により学生へ周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画	
設 置 時 (29年11月)	<p>(同一設置者が設置する生命農学研究科名古屋大学・カセサート大学国際連携生命農学専攻)</p> <p>1. 研究倫理に関する教育内容を充実すること。</p> <p>2. 博士論文について、査読制度のある国際学術誌への投稿・受理は博士論文全体であるのか、一部であるのか、併せて本専攻における修了要件であるのか、博士論文提出要件であるのかを含め明確にすること。</p> <p>3. 本専攻の設置の趣旨や教育・研究内容等に鑑み、名古屋議定書の効力の発生を踏まえた研究倫理審査体制を明確にすること。</p> <p>4. 協定書の締結にあたっては、申請書に示されている内容を確実に反映させること。</p>	<p>留意事項</p> <p>名古屋大学大学院生命農学研究科博士前期課程で開講している科目「研究リテラシー」を本国際連携専攻学生に受講させることとした。(30)</p> <p>留意事項</p> <p>査読制度のある国際学術誌への投稿・受理は、博士論文の一部であり、これは、博士論文提出要件である。この条件についてはカセサート大学とも認識を共有しており、「博士論文審査に先立ち、博士論文を構成する研究成果の全体又はその一部が学術誌に掲載されるか、少なくとも「掲載受理」されていること」とした。(30)</p> <p>留意事項</p> <p>名古屋議定書に基づき、資源利用に関して公正な研究の実施を図るため、学術研究・産学官連携推進本部に遺伝資源（名古屋議定書）に関する相談窓口を設けている。本相談窓口の活用等を通じ、海外からの生物由来研究試料など遺伝資源を取得する際には、提供国の法令等を遵守し、生物の多様性に関する条約と名古屋議定書に基づく手続きを遵守して厳正に行うものとする。(30)</p> <p>留意事項</p> <p>申請書に記載された内容を反映した協定書について、平成30年3月19日に調印式を行い締結した。(30)</p>	<p>履行済</p> <p>履行済</p> <p>履行済</p> <p>履行済</p>	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<生命農学研究科 名古屋大学・カセサート大学国際連携生命農学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
	合同運営委員会開催予定 開催日：平成30年6月29日 場 所：名古屋大学大学院生命農学研究科 参加者：【名古屋大学側】川北一人研究科長、土川覚国際 連携生命農学専攻長（副研究科長）、村瀬准教授、ほか調 整中 【カセサート大学側】現在調整中 議 題：2018年度入学者について 学生募集の方法について 学生の生活支援について その他

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 大学設置基準第51条2項に規定されている携外国大学との「協議の場」について、実施状況（開催日・議題等）を記載してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 : 合同運営委員会を設置予定</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 現在のところ開催していない</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 : 特段の記載事項なし</p> <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 : 無</p> <p>b 教員や学生への公開状況, 方法等</p>

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
設置の認可から初年度入学者選考まで非常に短期間であったが、設定したアドミッションポリシーに沿って両大学共同で入学者を選考し、平成30年5月現在、名古屋大学側を主大学とする学生1名が入学している。また、平成30年8月には、カセサート大学側を主大学とする学生1名の入学が見込まれている。
概ね当初の予定に沿って順当に運営されている。

② 自己点検・評価報告書
研究科内で検討中

③ 認証評価を受ける計画
学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表(予定)の有無 (有 ・ 無)

b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期 (平成30年 6月 1日)

(注) ・ 「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
・ 「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。